

項目	内 容
受付日	2015年5月1日
質問	中小企業の退職金水準を知りたい。
<p>回答 具体的な回答を提示した場合は、その回答事項を記入。データ、事例などを提供した場合は、提供した資料名を記入。</p>	<p>— 図書 —</p> <p>◎『中小企業の賃金・退職金事情 平成26年版』東京都労働相談情報センター事業普及課編編 東京都産業労働局 出版年月日：2014/12</p> <p>◎『役員報酬・賞与・退職金、従業員退職金、各種手当、慶弔見舞金—中小企業の「支給相場」完全データ—』日本実業出版社〔編〕 日本実業出版社 出版年月日：2013/2</p> <p>◎『退職金・年金事情 2009年版—全国主要企業の実態調査資料— 労政時報別冊』労務行政研究所〔編〕 労務行政 出版年月日：2009/05</p> <p>◎『就労条件総合調査報告 平成25年』厚生労働省大臣官房統計情報部雇用・賃金福祉統計課賃金福祉統計室編 厚生労働省大臣官房統計情報部 出版年月日：2014/03</p> <p>◎『賃金事情等総合調査 平成25年—退職金、年金及び定年制事情調査—』中央労働委員会事務局〔編〕 中央労働委員会事務局 出版年：2014</p> <p>— 逐次刊行物 —</p> <p>◎『労政時報 No.3843 2013.4.12』 労務行政 (2012年度モデル退職金・年金の支給水準) p64～</p> <p>◎『UAゼンセンコンパス 2014.7・8』 UAゼンセン (2013年度退職金水準調査結果) p86～</p> <p>◎『堺経協資料 No.659 2015.2.20』 堺経営者協会 10p (平成20年度退職金)</p> <p>◎『連合政策資料 No.221 2014.12.24』 (2014年度 連合構成組織の賃金・一時金・退職金)</p> <p>◎『月刊JAM No.172 2014.11.15』 (2014年JAM賃金・労働条件調査集計(1))</p> <p>◎『電機連合 調査時報 No.406 2014.7』 (雇用延長・退職金・企業年金に関する調査結果)</p>
<p>回答プロセス 調査に使った手段・方法を順を追って記入。</p>	<p>同様のレファレンスが過去にあったことからレファレンス協同データベースの自館データ(愛労情報H22-006 「退職金の水準を知りたい。」)を参照し資料を探した。また、当コーナーOPAC (URL:http://sv2.opac.jp/paop/cgi-bin/index.cgi?LibId=059td4q)で「退職金」をキーワードに資料検索を試みた。中小企業の退職金水準と限定的であったが、『就労条件総合調査報告 平成25年』に学歴・職種・勤続年数階級、“企業規模別”定年退職者1人平均退職給付額等のクロス集計表の記載を『中小企業の賃金・退職金事情 平成26年版』に産業別、学歴、勤続年数、年齢別のモデル退職金額を見つけることが出来た。その他、雑誌記事、経営者団体、労働組合が発行する「労働条件調査」などから退職金データを得ることが出来た。</p>
調査種別	事実調査
質問者区分	社会人